

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 24 号:2012 年 12 月－2013 年 1 期】

* 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

経済概況

2012 年のウズベキスタンの GDP は 8.2%成長して 96 兆 5,890 億スムとなった

成長率の内訳はそれぞれ、鉱工業生産高が 7.7%、農業生産高が 7%、固定資本投資が 14%、建設工事が 11.5%であった。GDP に占める中小企業の比率は 54.6%（一年前は 54%）に、サービス業の比率は 52%（50.5%）にそれぞれ増加した。輸出額は 11.6%増加し、そのうち非資源完成品が占める比率が 70%を上回った。貿易収支黒字は 11 億 2000 万ドルを超えた。国家予算の遂行実績は、歳入面ではすべての指標と歳入源について目標に到達し、財政黒字は GDP の 0.4%であった。

2013 年 1 月 1 日現在、ウズベキスタンの対外負債総額は GDP の 16%を超えていない。銀行業界の総資本は 2012 年に 24.3%増加、直近の 3 年では 2 倍に増加した。自己資本比率は 24%であるが、これは一般的なグローバル・スタンダードの 3 倍である。銀行流動性は、2012 年の実績で 65%を超えるが、これは要求される最低水準の 2 倍を上回る。

2013 年は国の経済成長率を 8%にすることが課題とされており、そのために、何はさておき鉱工業 8.4%、農業 6%、固定資本投資 11%、サービス部門およそ 16%の成長率をそれぞれ達成する必要がある。引き続きバランスのとれた厳しい金融政策がとられ、インフレ指標は 7～9%となり、中央銀行の公定歩合は 12%の水準で維持されることになる。銀行業界の総資本伸び率は 20%以上にすることが目標である。

投資政策

ウズベキスタンの 2013 年の投資プログラムが承認された

27 兆 1,000 億スムを上回る（公共）投資を実施する計画であり、うち 6 兆 6,900 億スムは中央政府による投資、20 兆 4,000 億スムはそれ以外である。2013 年、ウズベキスタンは 4 兆 5,000 億スムを上回る対内直接投融資と、1 兆 7,000 億スム相当の政府保証付き対内投融資を呼び込むことにしている。

外国人投資家に対する優遇措置の範囲を拡大

優遇措置は、民間の対内直接投資を誘致する企業に付与されるものであるが、2012 年 12 月 14 日から、この優遇措置が適用される経済部門のリストが（8 部門から 20 部門へ）大幅に拡大された。とりわけ、包装材生産、代替エネルギー発電所建設、石油化

学工業などの部門が新たに加えられた。

また、税優遇措置適用条件が変更され、タシケント市とタシケント州を除くすべての都市と農村の企業が優遇措置を受けられることになった。それまでは、優遇措置を受ける権利が付与されていたのは労働力が余っている特定の地域の企業だけであった。そのほか、今では、優遇措置を受けるには企業の定款資本に占める外国人の比率が、以前のように 50%ではなく、33%であれば十分ということになった。

ウズベキスタン政府が輸入代替率 30%以上の現地化プロジェクトに税・関税優遇措置を付与

「2011～2015 年の現地化プログラム」は、政府によって毎年修正されているが、今後は現地化率が 30%以上のプロジェクトが対象となる。この現地化プログラムの枠内で承認されたプロジェクトには一連の優遇措置が付与される。特に、このようなプロジェクトは、ウズベキスタンで生産されておらず、輸入され、現地化製品を生産するときに生産技術工程で用いられる、技術設備およびそのスペアパーツならびに材料や部品にかかる関税その他の税関納付金の支払いが免除される。そのほか、現地化プロジェクトに基づいて生産される製品の一部は、利潤税、（簡易課税制度を採用する企業向けの）統一税、生産に使用される固定資産にかかる資産税がそれぞれ免除される。

既報によれば、ウズベキスタンの企業は 2011～2015 年に現地化プログラムの枠内で新製品・組立用部品の生産に 7 億 8,760 万ドルを投資する。各現地化プロジェクトへの資金供給は、ウズベキスタンの銀行からの融資 2 億 9,490 万ドル、各企業の自己資本 2 億 9,080 万ドル、外国資本による対内投資 1 億 4,190 万ドル、ウズベキスタン復興開発基金による融資 6,000 万ドルを原資にして行われる。

新製品完成品・各種組み立て用部品 328 品目の生産を軌道に乗せる計画である。現地化プログラムの枠内で行われる生産に向けられる製品の約 70%は採鉱金属製造、石油ガス、自動車、化学、電気技術、それに農業機械製造の各分野の企業が占めている。

ウズベキスタン復興開発基金は 2013 年、34 のプロジェクトの実施に 8 億 945 万ドルを配分する

これらのプロジェクトは今年の国家投資プログラムに含まれている。基金は特に、エネルギー、石油ガス、化学、輸送、観光などの部門のプロジェクトの実施に財源を配分する。これらのプロジェクトは総額で 152 億 1,600 万ドルであるが、基金は向こう数年間にわたり 27 億 9,200 万ドルをそれらの実施に向けて供与する。そのうち 2013 年には、最大の融資額（7 億 6745 万ドル）が燃料・エネルギー産業、化学工業、石油化学工業および金属製造工業の各部門のプロジェクトの実施に向けて計上される。全体として 2013 年には、各部門の各プロジェクトに合わせて 20 億 1,400 万ドルが投資される。

アラブ諸国の銀行がウズベキスタンの諸プロジェクトに 4 億 8,090 万ドルの資金を供給

ウズベキスタン政府は、「アラブ調整グループ (Arab Coordination Group、アラブ国家・地域開発協会調整グループ) 会員金融機関の資金を原資として実施することが提起されているプロジェクト・リスト」および「これらの金融機関によるプロジェクト資金供給問題解決にかかわる実際の方策実施計画」を承認した。アラブ調整グループ会員とはイスラム開発銀行、サウジアラビア開発基金、アラブ経済開発クウェート基金、OPEC 国際開発基金およびアブダビ開発基金である。リストには全部で 15 のプロジェクトが含まれる。概算見積もりではこれらのプロジェクトの総費用は 5 億 8,250 万ドルである。最終費用と誘致される融資の総額はこれらのプロジェクトの事業化計算の承認の結果によって明確になる。これらのプロジェクトは 2013~2017 年に実施される予定である。

ウズベキスタン-オマーン投資基金 UzOmanCapital が 2013 年、ウズベキスタンの諸プロジェクトに 1 億ドルの資金供給枠を開設へ

基金の資金は、ナヴォイ自由産業経済特区の域内における総費用が約 3 億ドルとなる工場の設立に向けられる。2009 年 10 月、オマーン国家一般準備基金 (State General Reserve Fund) とウズベキスタン復興開発基金は、法定授權資本金が 5 億ドルとなる投資会社 UzOmanCapital の創設に関する設立文書を締結した。資本金の構成は、株式の 75%がオマーン政府に、25%がウズベキスタン側にそれぞれ属する。

2013 年 4 月 1 までにジザク州域内に工業団地が誕生予定

ハイテク工業団地創設問題への取り組みは、すでに 2011 年にカリモフ・ウズベキスタン大統領の中国訪問の結果に基づいて、中国をパートナーとして始まっていた。

エネルギー・セクター

ガスプロムがウスチュルト台地のジェル鉱床開発で生産物分与協定 (PSA) をウズベキスタン政府と締結する意向

現在、ガスプロムの技術者たちが設計仕様書と事業化調査書のドラフトを作成中。2012 年には鉱床の追加的な探鉱が行われ、その結果に基づいて 14 の生産効率のよい層準があることが分かった。既報によれば、ジェル・エリアのガス埋蔵量は 100 億 m³を超える可能性がある。この鉱床への投資額は第一段階でおよそ 5,000 万ドルとなると見られている。

2004 年 4 月、ガスプロムは 15 年を期限とする PSA 条件でウスチュルト台地のシャフパフティ鉱床において天然ガスの生産に着手した。同鉱床におけるガスの累積生産量はこれまでに 21 億 m³となった。

国営持株会社ウズベクネフチェガスは 2012～2014 年、4 億 3,000 万ドルを石油ガス設備の更新に振り向ける

計画では、3 億 3,930 万ドルの費用をかけて 723 基の新規設備を入手し、8 億 9,900 万ドルの費用をかけて 1,875 基の設備を近代化することになっている。この計画に必要な資金は国営持株会社ウズベクネフチェガスの自己資金およびウズベキスタンの銀行からの融資を原始にして調達される。

自動車・輸送セクター

2016 年にはウズベキスタンの自動車のおよそ 30%がガス燃料使用になる予測

ウズベキスタンの 2012 年 1 月 1 日現在の自動車保有台数は 171 万 9,100 台であり、現在そのうちの 12.4%が天然ガスで動いている。とりわけ、韓国側パートナーとのナヴォイ自由産業経済特区におけるガスボンベ・設備生産共同プロジェクトが実施されれば目標達成に寄与するであろう。そのほか、ウズベキスタンでは韓国側パートナーの参加と 4,200 万ドルを上回る投資を得て、自動車用天然ガススタンドが 50 カ所で操業を開始する見通しになっている。

ウズベキスタンのホラズム州で自動車 “Damas” を生産予定

同州では毎年 4 万台の “Damas” 車とそのスペアパーツが生産されることになろう。ウズベキスタンではじめて “Damas” 車が生産されるようになったのは 1996 年 3 月、アサカ自動車工場（アンディジャン州）でのことであった。2006 年 2 月にはそれまでの B100 シリーズに代わって B150 シリーズの “Damas” 車の生産が始まった。

ウズベキスタンがフェルガナ盆地での鉄道建設に 19 億ドルを投資へ

プロジェクトの事業化調査書の最終案を 2013 年末までに取りまとめ、2014 年初めからまず土木工事に着手し、全体の工期は 5 年に及ぶ見通しである。このプロジェクトではカムチク峠を通り、総延長が 129km のアングレン・パプ電化鉄道が新規に敷設され、2 本のトンネルが建設されることになっている。プロジェクトに必要な資金は、国家予算と国営合資会社ウズベキスタン鉄道の自己資本のほか国際金融機関の借款を原資に調達することになっている。カムチク峠はクラマ山脈の稜線に横たわっており、標高は海拔 1,200m を超える。タシケント州とナマンガン州を結ぶ唯一の自動車道がこの峠を通っている。冬季には雪崩の恐れがあるため自動車道はこの区間でしばしば閉鎖される。